

地方創生加速化交付金（2次募集）について

1 概要

平成 28 年 3 月補正予算で計上した地方創生加速化交付金について、本市の申込事業が不採択となったが、平成 28 年 6 月補正予算に計上した事業である「寝屋川市サクラ☆プロジェクト」に対し、平成 28 年 8 月 2 日付けで内示があり、19,335 千円（満額）採択された。

2 採択事業

寝屋川市サクラ☆プロジェクト

（サクラ☆プロジェクト推進協議会、桜のライトアップ、桜の植樹、桜のにぎわいづくり、桜にまつわるスイーツ開発）

※ 桜のライトアップは加速化交付金未申請

3 大阪府内自治体の申請・採択状況

自治体	申請額	交付予定額	自治体	申請額	交付予定額
岸和田市	35,288	35,288	高石市	33,738	33,738
泉大津市	2,669	2,585	藤井寺市	54,280	36,030
守口市	62,100	45,600	四條畷市	48,051	48,051
枚方市	28,600	28,600	島本町	20,000	20,000
富田林市	9,000	9,000	忠岡町	6,000	6,000
松原市	21,000	21,000	熊取町	21,900	16,900
箕面市	32,900	20,400	太子町	11,360	11,360
寝屋川市	19,335	19,335			

※ 申請額・交付予定額の単位は（千円）

4 加速化交付金（2次募集）経過及び今後の予定

日程	内容
6月14日（火）	事業実施計画を大阪府に提出（⇒内閣府）
8月2日（火）	交付金内示（満額採択）
8月	交付金申請手続
8月下旬	交付金の交付決定通知



サクラ☆プロジェクト 実施方針



平成28年7月

寝屋川市

経営企画部・市民生活部・まち建設部



目次

1	サクラ☆プロジェクトについて	1
2	サクラ☆プロジェクトの全体スケジュール	3
3	各事業の具体的な内容	4
①	サクラプロジェクト推進協議会	4
②	桜のライトアップ	5
③	桜の植樹	6
④	桜のにぎわいづくり	7
⑤	桜をイメージしたスイーツ開発	8



1 サクラ☆プロジェクトについて

寝屋川市人口ビジョン（平成28年2月策定）

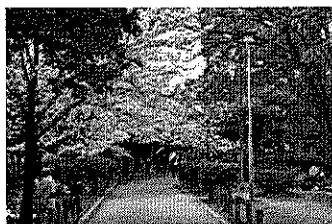
- 現在の人口推移が続けば、平成52年（2040年）には、本市の人口は約18万6,000人まで減少すると見込まれるが、本市に住みたい、住み続けたいと思う施策・事業を実施することにより、平成52年（2040年）の目標人口を20万人としている。

寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年2月策定）

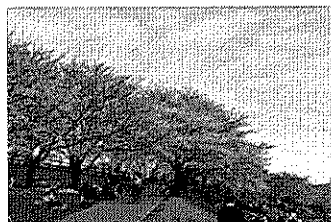
- まちの魅力を発掘し、アピールして、市外から人が集い、市民が生き生きと活動できるまちづくりを進める必要があるとしている。

地域資源・ポテンシャル

- 桜は昭和43年に市民公募により「市の木」に選ばれた。市内に隠れた桜の名所があり、市民にとって「ふるさと」を感じさせる。
- アニメや漫画で有名な「名探偵コナン」の服部平次は寝屋川市成田在住の設定。「友呂岐の桜、見に行こうか」のセリフがある。
- アジア圏からの日本への観光客が増え、市内と近隣市のホテルの利用客が増えている状況がある。



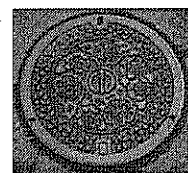
友呂岐緑地



打上川治水緑地



市のマスコットキャラクター
はちかづきちゃん



マンホールのふた



ご当地プレート



1 サクラ☆プロジェクトについて

現状と課題

- 大都市圏にある住宅都市として交通の利便性があり、様々な地域資源を有していることから、まちの魅力を市内外に更に発信し、人の流れにつなげる必要がある。
- 本市の商業施設等は、売場効率の水準が低いが、市民の買い物の利便性の向上は、定住促進の観点から不可欠であり、そのためには、商業施設等の採算性の確保による地域産業の活性化が必要である。
- 観光客が、大阪市や京都市の中間に位置する本市を通過することに着目し、日帰り観光、“宵観光”のための取組を推進することが必要である。

目的

市内在住の人、京阪沿線、JR学研都市線沿線の住民、大都市圏を主な目的地として訪れる外国人旅行者など、市内外の人々に対して、以下の視点をもってシティプロモーションを行うことにより、まちの魅力の向上につなげ、人の流れを作り、地域産業の活性化を図る。

【視点】

- ① 市域が“桜”に彩られるまちづくり
- ② 桜と「食」を融合した魅力づくり、にぎわいづくり
- ③ 市民全体で桜を育み、プロジェクトを進化させる



※ テーマはサクラプロジェクト推進協議会で決定する。

キーワード：彩り・にぎわい・育み
連携・継承・個性

事業

① サクラプロジェクト推進協議会

② 桜のライトアップ

③ 桜の植樹

④ 桜のにぎわいづくり

⑤ 桜をイメージしたスイーツ開発



3 各事業の具体的な内容

① サクラプロジェクト推進協議会

プロジェクト全体における事業の役割

サクラ☆プロジェクトの推進主体として、多分野にわたる団体が、その役割・専門性を発揮して、プロジェクトに係る事業を連携して実施する体制の構築、将来的な事業の自立につながる提案を行う。

主な事業内容

- 市のプロモーションのテーマ設定
- 市内事業者、若者世代などのサクラ☆プロジェクトへの参画、人材確保を図るための場づくり
- サクラ☆プロジェクトにおける情報マッチング
- サクラ☆プロジェクトに関する事業への効果的な事業継続・拡大のための意見交換

事業実施に当たっての課題

- 各構成委員が有する専門性をいかした事業（例：鉄道事業者による沿線での事業PRなど）の企画・調整
- 構成委員間の円滑な連携による、事業実施のために必要な連携方法の検討
- 桜のライトアップイベントにおける効果的なPRを行うための方策の検討、PRの実施
- 共通のロゴマークの作成（桜スイーツ販売、PRポスター、広告への活用等）
→ロゴマークを作成する場合の商標登録、ロゴマーク作成に係る費用、権利の帰属先 等
- ふるさと納税の促進方法の検討（PR方法、金融機関との連携 等）
- 多分野への事業展開

構成委員（案）

分野	所属
学識	大阪電気通信大学
	摂南大学
	大阪府立大学工業高等専門学校
商業	寝屋川市商業団体連合会
民間	京阪電気鉄道株式会社
	京阪バス株式会社
金融	日本政策金融公庫
	枚方信用金庫
	株式会社りそな銀行
大阪府	枚方土木事務所
市	経営企画部、市民生活部、まち政策部、まち建設部における部長



3 各事業の具体的な内容

② 桜のライトアップ

プロジェクトにおける事業の役割

市内の桜の名所を印象的なライトアップでアピールすることにより、市内外から人を呼び込み、「桜のまち」のイメージを形成し、人の流れを生み出す起爆剤とする。

主な事業内容

- 契約方法の決定（契約事務審査委員会への付議）
- 事業者の決定（サクラプロジェクト事業者選定委員会の開催）
- ライトアップ点灯式イベント（平成29年3月25日）の開催
- 打上川治水緑地での桜の通り抜け（ライトアップ）の開催（期間：3月25日～）

事業実施に当たっての課題

- ライトアップ事業の委託業務内容の検討（仕様書等の作成）
- ライトアップ点灯式の実施内容の検討（イベントの実施など）
- 人を呼び込む仕掛け（プロジェクションマッピング、ピンクフラッグなど）の検討
- ライトアップの継続実施に向けた検討、設備の管理方法、保管場所の検討
- 来場者数のカウント方法、会場の交通整理、ごみ処理など、イベントの円滑な運営に向けた検討
- 安全体制の確保（警察・関係機関との協議、警備計画の策定、警備体制の検討）
- 寝屋川市市政協力委員自治推進協議会及び周辺自治会、地域協働協議会への説明

目標

桜のライトアップの1日平均来場者数 1,000人/日（平成29年3月）

イメージ



<打上川治水緑地北側の遊歩道の桜のライトアップイメージ>



3 各事業の具体的な内容

③ 桜の植樹

プロジェクト全体における事業の役割

鉄道駅を拠点として、市内に点在する桜の名所へのルートを桜街道としてつなげ、名所等の「見える化」を図るなど、市全体で桜を増やし育てていく輪を広げ、桜をテーマとしたまちづくりを推進する。

主な事業内容

- 桜の植樹計画の策定
 - ① 植樹可能な場所、路線等の調査を実施（植栽樹種及び本数等の検討）
 - ② 市内4駅の鉄道駅を拠点とした桜街道の選定
 - 寝屋川市駅～打上川治水緑地を經由し東寝屋川駅まで
 - 香里園駅～成田山不動尊又は成田公園
 - 萱島駅～南寝屋川公園
 - ③ 植樹計画推進のための方策の検討
- 桜の植樹計画に伴う桜の植樹工事
 - 桜の植樹約100本、シンボルツリーの選定

イメージ



<友呂岐緑地>

事業実施に当たっての課題

- 桜の植樹の方向性の検討
 - 本市の風土に適した桜の樹種の選定
 - 植栽可能地の調査及び検討結果による適正な維持管理が可能か
 - 桜の生育に適した育成期間、植樹を行う場所・位置、既存の樹木とのすみ分け、シンボルツリーの在り方など
- 桜以外の木・花を活用した事業展開などの検討
- 桜の名所へのルートの不連続性の解消
 - 植樹可能地の欠落等
- 民有地等に点在する桜の名所との調和
- 多くの市民や地域にも愛され、育んでもらえる維持管理の手法



3 各事業の具体的な内容

④ 桜のにぎわいづくり

プロジェクト全体における事業の役割

市内商業団体等による飲食店でのイベントの開催、桜にまつわるセールの実施等により、市内外からの集客を促進し、地域産業の活性化を図るとともに、事業者独自の事業展開を目指す。

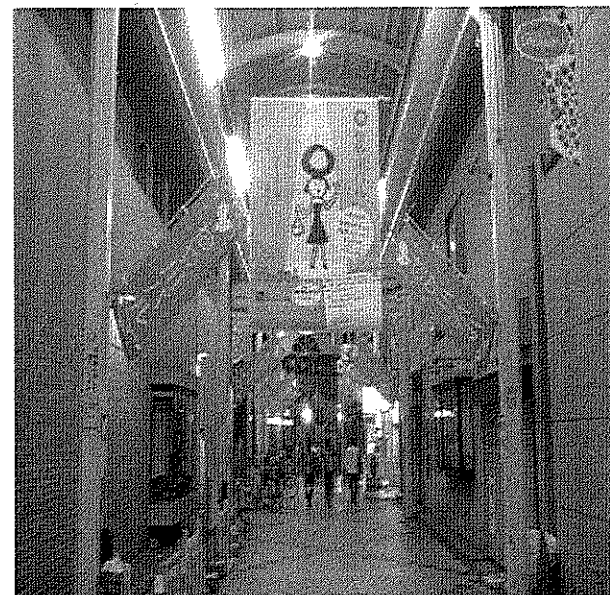
主な事業内容

- 商店街での桜にまつわるセールの実施（平成29年3月25日～4月6日）に対する市内商業団体への補助
- 「食の祭典」（サクラ☆バル）の開催（平成29年3月31日～4月1日）に対する補助
- ライトアップ期間中の打上川治水緑地における「桜カフェ」の開催（平成29年4月1日～4月2日）に対する補助
- サクラプロジェクトに係るPR（ポスター作成、車内中吊り広告）

事業実施に当たっての課題

- 桜にまつわるセールの具体的な実施内容（開催場所、参加店舗、「桜にまつわる」の条件の設定等）、PR方法
- 「食の祭典」（サクラ☆バル）の具体的な実施内容（開催場所、参加店舗、桜にまつわるメニュー、マップの内容等）、PR方法
- 桜カフェの具体的な実施内容（会場規模、席数、机・椅子の準備、メニュー数・メニュー内容、ごみ対策等）、PR方法
- 車内中吊り広告の掲載内容、掲載車両（区間）、掲載期間などの検討
- ポスターの内容、掲示場所などの検討

イメージ



<ねや川バル>



3 各事業の具体的な内容

⑤ 桜をイメージしたスイーツ開発

プロジェクト全体における事業の役割

地域資源である桜をイメージしたスイーツの開発により、食に関する地域ブランドの創出を図るとともに、スイーツの販売などにより、地域産業の活性化を図る。

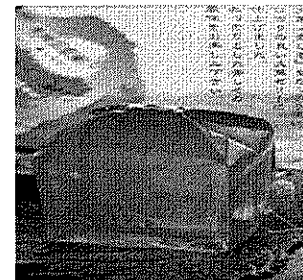
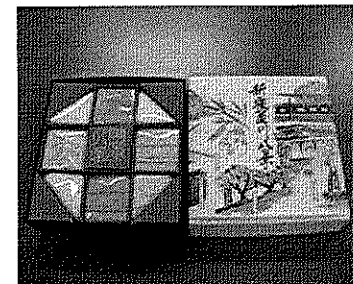
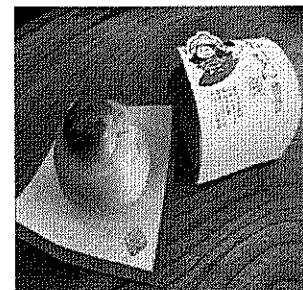
事業内容

- 寝屋川市生菓子組合による、桜をイメージしたスイーツの開発に対する補助
- 市内の洋菓子店舗への桜をイメージしたスイーツ開発の参加協力要請
- アンケート調査の実施

事業実施に当たっての課題

- 販売方法の検討（販売時期（年間を通じた販売にするのか、季節限定販売にするのか）、販売場所等）
- 桜イベント時での活用方法（桜カフェのメニュー、サクラ☆バルやセールでの販売等）
- アンケート調査の内容・方法等の検討
- 洋菓子開発に対する支援の在り方の検討

イメージ



<寝屋川市生菓子組合が創製した
特産品>